PHP 関数理解度テスト①選択式問題 (全 20 問: 40 点)

テスト筆	6囲:	当ス	クール	の PHP き	 基礎(1章~	7章)				
実施日:	:	年	月	月 (曜日)				資料作成者:神田 IT スクール コン	/テンツ
開始時間	間:	時	<u>分</u>	終了時	間:	時	<u>分</u>			テスト制限時間 : 40分	
座席都	番号:			氏名	:				会社名		
<<テスト	・の流れ	,>>									
 ≪ecli	pse 3	を使り	制して	、プログ	゚ラム	を作	成して	くだる	とい。		
※テュ	トスト	は使	ってよ	い。イン	ノター	 -ネット	·は使	ってに	よいけ	ません。	
				てくださ							
						e Acr	ohat I	Read	er DC	で開いてください。	
<u>//\7\ </u>	<u> </u>	וט ו		176 - 7	tuob	0 7(01	obat 1	Todu	01 DO <u>-</u>	CMU CVICCO	
→ Adob	o Amoh	ot Ro	odov T)C の使い	古にィ	ついてた		* ブ7#言	刃ノだち		
UKL: I	nttps://	arive.	googie	.com/ariv	e/u/ <i>Z</i> /	ioiaers	/1]28]D	waws	GZDXSI	ozVrvxgm5rS_BfRN5	
C4 1	■ ボコ <i>→</i>	ヒャル	たニっ	1 次业は	7 ~°.	ころがは	昨年そか	アハン	* <i>ふ、7/セ=</i> 刃	· ++	
Step1				ト資料が							
Step2		-				-			人下にナ	ェックを入れてください。	
			_	記入しま							
			_	「終了時間					通学時0)み	
		「座席	番号」	を記入し	ました	<u>-</u> 。	(通学時	のみ			
		「氏名	」を記	入しまし	た。						
		「会社	名」を	記入しま	した。						
Step3	■問是	夏文を	読み、	答えをアー	~エま	:たはC)・×カユ	ら 1	つ選び、	回答欄に記入してください。	
Step4	■すべ	べての	回答を	記入、も	しくば	は制限時	5間に達	したら) ,		
	本組	氏を講	師に提	出してくた	ぎさい	١.					
	※ É	宅学	習の方	は、次のこ	プログ	`ラム作	成問題	の提出	出物と一部	者に	
				てト聿きん							

■1. PHP ソースコードの記述方法の説明で正しくないものを選びなさい。 (1章: PHP ソースコードの記述方法)

ア	HTML の文章中に、部分的に埋め込んで記述できる。
イ	HTML 文章の間に、処理をまとめて記述できる。
ウ	PHP フレームワークを使うと、プログラム方法を統一化できる。
エ	どのような書き方をしても全く問題はない。
	ATT Arts

解答

■2. 以下の記述方法をショートタグ使った正しい記述方法を選びなさい。 (1章: PHP ソースコードの記述方法)

今日は<?php echo \$name?>の<?php echo \$age?>歳の誕生日です。

ア	今日は = \$name? の = \$age? 歳の誕生日です。
1	今日は == \$name? の == \$age? 歳の誕生日です。
ウ	今日は echo \$name= の echo \$age= 歳の誕生日です。
エ	今日は<= \$name=>の<= \$age=>歳の誕生日です。

解答

■3. 問題文を読み、答えをア〜エまたは○・×から 1 つ選び、回答欄に記入してください。 『PHP のソースコードの記述の仕方には明確に決まったルールはない。』 (1 章: PHP ソースコードの記述方法)

解答

■4. 以下のように変数にキャストを行った場合、画面に表示される値を選びなさい。 (2章:定数と変数の型変換)

\$num1 = 3.141592; \$num2 = (int)\$num1;

ア	3. 141592
1	(int)3.141592
ウ	3
工	(int)3

解答

■5. 問題文を読み、答えをア~エまたは〇・×から 1 つ選び、回答欄に記入してください。 『変数には特別なスーパグローバル変数が用意されたように、定数にも用意されている。』 (2章:定数と変数の型変換)

解答	
----	--

■6. if 文に関しての説明で間違っているものを選びなさい。

(3章:条件分岐文を詳しく知って扱おう)

ア	各ブロック内に条件分岐文を書くこと if 文のネストと言う。
イ	if 文は必ず if ブロックから始める必要はない。
ウ	elseif ブロックは任意の数だけ増やすことができる。
工	else ブロックは省略することができる。
	叙 答

■7. 変数\$a=2の場合以下の処理後、変数\$aの値がいくつになるか選びなさい。 (3章:条件分岐文を詳しく知って扱おう)

```
switch($a){
  case 1:
      a = a + 1;
      break;
  case 2:
      a = a + 2;
      break;
  case 3:
      a = a + 3;
  default:
      a = a + 4;
```

ア	4
イ	5
ウ	6
工	7

解答

■8. 問題文を読み、答えをア~エまたは〇・×から 1 つ選び、回答欄に記入してください。 『switch 文の各 case には必ず break 文を入れなければならない。』 (3章:条件分岐文を詳しく知って扱おう)

解答

■9. 繰り返し文 while の使う場合の説明で正しいものを選びなさい。 (4章:様々な方法の繰り返し処理)

ア	繰り返す回数が具体的に決定できる場合に使用する。
1	必ず1回は処理を行ってから繰り返す場合に使用する。
ウ	配列のデータの数だけ繰り返す場合に使用する。
エ	とある条件の間繰り返す場合に使用する。

解答

■10. 繰り返し構文で無限ループさせたい時の記述方法で間違っているものを選びなさい。 (4章:様々な方法の繰り返し処理)

ア	for(;;)
イ	while(true)
ウ	do{ ···} while(true);
エ	while(false)

解答

■11. 以下の二重ループ処理を行った場合、最後に表示される結果を選びなさい。 (4章:様々な方法の繰り返し処理)

```
for($i = 0; $i < 3; $i++){
    for($j = 0; $j < 4; $j++){
        echo $i."<==>".$j."<br>n";
    }
    echo "<br>>n";
}
```

ア	3 <==> 4
イ	2 <==> 3
ウ	2 <==> 2
工	1 <==> 3

解答

解答	
- 配列にデータを以下のように代入した場合、配列変数\$data[1][1]の値を選びなさい。 (5章:配列を詳しく知って扱おう) **Sdata[] = array(50,60,70);	
Stata = array(50,60,70); Stata = array(100,200,300); T 50	
Stata = array(50,60,70); Stata = array(100,200,300); T 50	
### Stata = array(50,60,70);	
\$data[] = array(100,200,300); ア 50 イ 60 ウ 100 解答 4. 配列の要素の総数を数える関数はどれか正しいものを選びなさい。(5章:配列を詳しく知って扱おう) ア array_search 関数 イ in_array 関数 ウ count 関数 エ array_pop 関数	
\$data[] = array(100,200,300); ア 50 イ 60 ウ 100 解答 4. 配列の要素の総数を数える関数はどれか正しいものを選びなさい。(5章:配列を詳しく知って扱おう) ア array_search 関数 イ in_array 関数 ウ count 関数 エ array_pop 関数	
イ 60 ウ 100 4. 配列の要素の総数を数える関数はどれか正しいものを選びなさい。 (5章: 配列を詳しく知って扱おう) ア array_search 関数 イ in_array 関数 ウ count 関数 エ array_pop 関数	
イ 60 ウ 100 4. 配列の要素の総数を数える関数はどれか正しいものを選びなさい。 (5 章: 配列を詳しく知って扱おう) ア array_search 関数 イ in_array 関数 ウ count 関数 エ array_pop 関数	
ウ 100 4. 配列の要素の総数を数える関数はどれか正しいものを選びなさい。 (5 章: 配列を詳しく知って扱おう) ア array_search 関数 イ in_array 関数 ウ count 関数 エ array_pop 関数	
エ 200 4. 配列の要素の総数を数える関数はどれか正しいものを選びなさい。 (5章:配列を詳しく知って扱おう) ア array_search 関数 イ in_array 関数 ウ count 関数 エ array_pop 関数	
### ### ### #########################	
4. 配列の要素の総数を数える関数はどれか正しいものを選びなさい。 (5 章:配列を詳しく知って扱おう) ア array_search 関数 イ in_array 関数 ウ count 関数 エ array_pop 関数 解答	
4. 配列の要素の総数を数える関数はどれか正しいものを選びなさい。 (5 章:配列を詳しく知って扱おう) ア array_search 関数 イ in_array 関数 ウ count 関数 エ array_pop 関数 解答	
ウ count 関数 エ array_pop 関数 解答	
エ array_pop 関数 解答	
解答	
複数のフォームデータを配列データとしてサーバに送る方法はどれか正しいものを選びな (6章:フォームデータの扱い方)	:さい。
ア まとめて送りたいフォーム部品の name 属性値全てに同じ名前を付けさらに[]を付け	る。
イ まとめて送りたいフォーム部品の name 属性値全てに同じに名前を付ける。	
ウ フォーム部品の name 属性値の名前の後に[]を付けておくだけ。	
エ フォーム部品の name 属性値の名前の前に[]を付けておくだけ。	

■16. 以下で示すフォーム部品のデータ(配列)を、PHP側で受け取る方法で正しいものを選びなさい。 (6章:フォームデータの扱い方)

<form action="test.php" method="get"> 好きな趣味: <input type="test" name="param[]"/> 好きな果物<input type="test" name="param[]"/> <input type="submit" value="送信"> </form>

ア	\$_GET['param[]']
イ	<pre>\$_GET['param']</pre>
ウ	<pre>\$_get['param']</pre>
Н	<pre>\$_POST['param']</pre>

解答

■17. 問題文を読み、答えをア〜エまたは〇・×から 1 つ選び、回答欄に記入してください。 『フォームデータの入力値チェックは PHP (サーバ側) で行う方法しかない。』 (6章:フォームデータの扱い方)

解答

■18. 関数を定義する場合に関数名の前に付けるキーワードとして正しいものを選びなさい。 (7章:関数を作って使おう)

ア	function
イ	func
ウ	キーワードはない
工	return

解答

■19. 以下のメソッド定義を呼び出した記述方法で間違っているもの選びなさい。 (7章:関数を作って使おう)

```
function calc($num1 , $num2) {
    return $num1 + $num2;
}
```

		解答	
土	calc('4, 9');		
ウ	calc((10/2) , 5%7);		
イ	calc(4,9);		
ア	calc(-4,-6);		

■20. 問題文を読み、答えをア〜エまたは〇・×から 1 つ選び、回答欄に記入してください。 『PHP には別のファイルに記述した内容を取り込んで使える仕組みがある。』 (7章:関数を作って使おう)

解答

選択式問題は以上となります。